

Mizuho Daily Market Report

2024/11/6

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	152.27	151.62	▲0.51	▲1.74
EUR	1.0888	1.0930	+0.0052	+0.0111
AUD	0.6610	0.6638	+0.0053	+0.0077
SGD	1.3177	1.3144	▲0.0053	▲0.0097
CNY	7.1062	7.1047	+0.0038	▲0.0244
MYR	4.3537	4.3460	▲0.0280	▲0.0325
THB	33.62	33.60	▲0.11	▲0.16
IDR	15747	15735	▲18	▲25
PHP	58.32	58.33	▲0.02	+0.06
INR	84.12	84.11	▲0.01	+0.03
VND	25342	25341	+21	+37

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.271%	▲1.4 bp	+1.7 bp
日本(10年)	0.942%	▲0.9 bp	▲3.9 bp
ユーロ圏(10年)	2.425%	+3.0 bp	+8.8 bp
オーストラリア(5年)	4.188%	+3.2 bp	+13.8 bp
シンガポール(5年)	2.747%	+1.9 bp	+4.2 bp
中国(5年)	1.797%	+0.0 bp	▲5.8 bp
マレーシア(5年)	3.666%	▲1.1 bp	+1.9 bp
タイ(5年)	2.213%	▲0.8 bp	+1.9 bp
インドネシア(5年)	6.672%	▲2.0 bp	▲5.4 bp
フィリピン(5年)	5.744%	+0.0 bp	+3.5 bp
インド(5年)	6.763%	▲0.6 bp	▲0.2 bp
ベトナム(5年)	2.020%	+0.0 bp	+1.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	42,221.88	+1.0%	▲0.0%
N225(日本)	38,474.90	+1.1%	▲1.1%
STOXX50(ユーロ圏)	4,870.33	+0.4%	▲1.6%
ASX(オーストラリア)	4,460.27	▲0.2%	▲0.6%
FTSE(シンガポール)	3,581.61	+0.3%	▲0.2%
SSEC(中国)	3,386.99	+2.3%	+3.1%
SENSEX(インド)	79,476.63	+0.9%	▲1.1%
JKSE(インドネシア)	7,491.93	+0.2%	▲1.5%
KLSE(マレーシア)	1,620.70	+0.3%	+0.3%
PSE(フィリピン)	7,257.94	+1.7%	+0.2%
SETI(タイ)	1,481.67	+1.3%	+2.1%
VNINDEX(ベトナム)	1,245.76	+0.1%	▲1.3%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	283.65	+0.3%	+1.9%
金	2,743.99	+0.3%	▲1.1%
原油(WTI)	71.99	+0.7%	+7.1%
銅	9,568.39	+0.0%	+1.9%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	151.60	—	153.80
EUR/USD	1.0740	—	1.0930
AUD/USD	0.6485	—	0.6780
USD/SGD	1.3060	—	1.3330
USD/CNY	7.0960	—	7.1190
USD/INR	4.3200	—	4.3930
USD/THB	33.30	—	34.05
USD/IDR	15550	—	15850
USD/PHP	58.20	—	58.70
USD/INR	83.30	—	84.40
USD/VND	24,100	—	25,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (8)	>	Bear (0)
USD/SGD	Bull (7)	>	Bear (1)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は152円台前半でオープン。東京仲値にかけてドル買い優勢となるも、その後失速。米大統領選の先行きが不透明な中、動意に欠ける展開となり152円台前半を中心にレンジ推移。結局152円台前半でクローズした。アジア通貨ではインドネシアルピアが約3か月ぶりの安値の水準となった。第3四半期のインドネシアの国内総生産(GDP)統計が予想を下回ったことが要因となった。

海外市場のドル円は152円台前半でNYオープン。NY朝方に発表された米9月貿易赤字が予想以上に悪化した事を背景に、ドル売りが強まり、151円台後半まで下落。続いて発表された米10月ISM非製造業景況指数が予想を上回った事が好感され、一時152円台前半まで反発するも、買い戻しは継続せず、その後再度152円台を割り込み、151円台後半まで反落。午後は米長期金利が下げ幅を拡大する動きが一段の重しとなり、151円台前半まで値を下げる。その後は下げ渋り、151円台半ばでクローズ。

【金利】

米債利回りは小幅に低下。4.28%台後半で始まった米10年債利回りは、米10月ISM非製造業景況指数が市場予想を上回ったことを受け、一時4.36%台まで上昇した。しかし、その後、米10年債利回りは上げ幅を縮めた。引けにかけては一段と下げ幅を拡大し、4.27%台でクローズした。

【予想】

本日のドル円はイベントに振られる展開を予想。本日は材料となる米指標の公表がないこともあり、米大統領選の動向を意識した展開になると思われる。大統領選挙の動向は様々な切り口で評価が進むものの、総じて接戦となっており、開票速報に振られ方向感の出にくい動きを予想。

【本日の予定】

(日本) 10月 複合PMI(確) / サービスPMI(確)
(日本) 9月 日銀 議事要旨
(日本) 輪番 1-3y、3-5y、25y超
(アジア) 10月 インド サービスPMI(確)
(アジア) 10月 ベトナム CPI / 貿易収支 / 国内自動車販売台数 / 鉱工業生産 / 小売売上高
(アジア) 9月 フィリピン 失業率 / 貿易収支
(アジア) マレーシア 金融政策会合
(欧州) 10月 ユーロ圏 サービスPMI(確)
(欧州) 10月 独 サービスPMI(確)
(欧州) 10月 英 建設業PMI
(欧州) 9月 ユーロ圏 PPI
(欧州) 9月 独 製造業受注
(欧州) 独 国債入札(15Y)
(米国) 10月 サービスPMI(確)
(米国) MBA住宅ローン申請指数
(米国) 国債入札(30Y)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、現実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。